

自動走行実証実験について

1 目的

豊山町の公共交通ネットワークの更なる拡充のため、将来の新たな移動手段となり得る「自動走行システム」搭載車両を活用した実証実験を行う。

2 内容

名古屋空港構内道路内の「あいち航空ミュージアム付近」、「MRJミュージアム付近」間で、レベル3の自動運転実証実験を実施

※レベル3:ドライバーがクルマに乗り込み、緊急時には運転操作

3 実験日程

年度内(関係機関と調整のうえ決定)

4 委託業者

アイサンテクノロジー株式会社

5 関連措置

空港管理者(愛知県)、空港関連事業者、バス事業者、警察署等と所要の調整を実施
県の「元気なあいちの市町村づくり補助金」を(県が1/2補助)



<実証実験の内容>

「自動走行システム」搭載車両を、バスを補完する交通手段として「指定路線で不定期運行」することを想定し、以下のとおり実証実験を行い課題を洗い出す。

なお、今回の実験は名古屋空港構内道路内で行うが、将来的には公道で運用していくことを視野に入れ実施する。

現在検討している実験例

- ① 基本的な走行(車両の自動待機、利用者の安全な乗降 等)
- ② 想定される事象を加味した走行(他の車両の走行、歩行者等の飛び出し等)
- ③ 対象を高齢者とした走行(物の運搬、車両の呼出し(時間・場所等指定)等)
- ④ 自動走行における相乗り(同一目的地に異なる地点からの乗り込み 等)

自動運転技術を活用した実証実験実施場所

※ 詳細は、愛知県、空港関連事業者、バス事業者、警察署等との調整により決定

